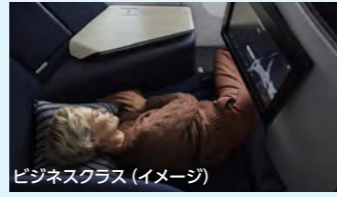


約4年ぶりとなる中部空港＝ヘルシンキ間の運行が再開

約4年ぶりとなる中部空港＝ヘルシンキ間の運行が再開しました。週2便だけではなくありますが、比較的利便性の高い月曜日と金曜日の出発としました。機材も好評いただいているエアバスA350-900を飛ばします。ビジネスクラスは30～43席で同型機でも日によって席数が変わります。お早めにご予約ください。プレミアムエコノミーも搭載していますので、併せてよろしくお願いたします。ぜひこの機会にフィンエアーの翼でヨーロッパへ中部空港からお出かけください。

FINNAIR

フィンエアー 名古屋支店
シニアクライアントマネジャー 鈴木 康伸



ビジネスクラス (イメージ)

ビジネスクラスのシートピッチは203cmと大きく、もちろんフルフラットシートとなる快適な造り。1-2-1の配列で全席通路側へ出られます。北欧の味のシグニチャーメニューもお楽しみください。



プレミアムエコノミークラス (イメージ)

シートピッチは96.5cmと十分な広さ。レップレストと形状記憶フォームのクッションで体が適度にサポートされ、快適にお寛ぎいただけます。お食事モイッタラ製陶磁器で提供される3コースです。

「心に残る感動の旅を」ワールド航空サービスは、旅の安心を最優先します。



連泊中心のゆとりある日程です

これまで弊社のツアーはゆとりのある日程を心がけてきましたが、現地での突発的な問題発生や、万が一の事態にも対応できるように連泊主体のさらにゆとりある日程を設定しております。



イヤホンガイド利用でソーシャルディスタンスを確保

観光の際にはイヤホンガイドシステムを利用し、お客様、添乗員、ガイド間の密状態を避けます。



バス座席は1名様あたり、2席以上をご用意

バスの乗車率を50%以下に。1名様につき2席以上の席をご用意いただく等、十分な間隔を空けてご旅行いただけます(一部地域を除きます)。



必ず「海外旅行保険」へご加入ください。

現地で新型コロナウイルスに罹患し、延泊などが必要になった場合、当社取扱の海外旅行保険でご本人の宿泊費用や日本帰国のための航空券代が補償されます。また国によっては加入が義務づけられているところもあります。

●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立
旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い
旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日以前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金
「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの
(1)パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
- ④ 食事の料金(機内食は除く。)&及び税・サービス料金
- ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、同通行税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したものの前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの
上記以外には旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
- (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予約代理料金・渡航手続代行料金)
- (4) お1人部屋を使用される場合の1室1名利用追加代金
- (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
- (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め決めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。
- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「シャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光
船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について
座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について
当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●=入場観光 ○=下車観光 ㊦=ユネスコ世界遺産
- お食事：■=朝食 ㊦=昼食 ター=夕食 ㊦=機内食 □=食事なし ㊦=軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
- 乗り物：✈=航空機 🚆=列車 🚗=自動車 🚢=船 🚲=ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について
パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを鑑んでいただけたらよい、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを鑑んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて
旅行契約が成立した後に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取 消 料
旅行開始日がビーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までに解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までに解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

- (注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でも申込時に必ずご確認ください。
- (注2) 「ビーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。
- (注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集型企画旅行代金又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準
ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2024年1月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

- 東京支店 TEL: 03-3501-4111 東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩
- 大阪支店 TEL: 06-6343-0111 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣
- 名古屋支店 TEL: 052-252-2110 名古屋市中区栄3-14-7 RICC0栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範明
- 九州支店 TEL: 092-473-0111 福岡市博多区博多駅前2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子
- 札幌支店 TEL: 011-232-9111 札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智
- 藤沢支店 TEL: 0466-27-0111 神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光局長登録旅行業201号

心に残る高品質な旅
WORLD

セントレア発着

- 美しきモラヴィアの街々とウィーン・プラハの旅 【11日間】
- 憧れの名門ローマ エクセルシオールに2泊 ベネチア ムラーノ島と秋色のコモ湖の旅 【10日間】
- 煌めく秋のスイス 美しきマッターホルンとレマン湖畔の旅 【10日間】
- 第94回アルパイトリユフ祭 秋のピエモンテとビザンチンの華ラヴェンナの旅 【10日間】

名古屋支店 渾身のヨーロッパ

2024春秋版
保存版
名古屋

ワールド航空サービス
World Air-Sea Service

名古屋支店のオリジナルツアーは 単なる観光に留まりません。



もっとヨーロッパの旅を楽しんでいただくために

久しぶりの再開となるセントレア発着のヨーロッパの旅を企画するにあたって、名古屋支店の社員で「どうすればヨーロッパの旅をもっと楽しんでいただけるか」を何度も話し合い、旅慣れたワールド航空のお客様にツアーの快適さや気楽さは失わずに、街の素顔や人々の暮らし、その土地の文化や習慣にも触れていただけるような旅づくりを心がけました。

1. 思い出に残る上級ホテルや特徴的なホテルでの宿泊もご用意。



長い歴史を誇るヨーロッパでは歴史や伝統のあるホテルは様々あります。各コースにおいて、少なくとも1か所はその街を代表するような上級ホテルでの宿泊、もしくは宿泊すること自体が印象的な体験となるホテルをご用意しました。旅の記憶に残るご滞在になることと思います。もちろん他のホテルも弊社基本方針の通り、設備はもちろんのこと立地条件も重視したファーストクラスホテルを選んでおりますので、ご安心ください。

2. 有名レストランから地元の味まで、「こだわりのお食事」を組み込みました。



旅の中でも思い出に残るもののひとつとしてお食事も重要です。有名レストランのみならず、美しい景色を楽しみながらのお食事や、地元の味もお楽しみいただけるようにレストラン選びも工夫しました。自由食も適度に組み込んでいますので、ご自身の体調に合わせて調整いただけます。またグループ予約の難しいお店の手配などは現地で添乗員がお手伝いいたします。

3. 「街の素顔に触れる、朝の散策」にご案内。



滞在地では日中はどうしても混みあうもの。まだ人々が活動する前の時間帯に街を歩くと、そこに生活する市民の様子や静けさが広がる街並みなど、その街の素顔に出会えます。また、日中の観光も余裕を持った行程にしています。日中とは随分異なる街の魅力を感じる「朝の散策」へ出かけましょう。

4. 暮らしを感じる「市場ぶらり歩き」。



街の台所ともいえる市場は、人々の生活を垣間見ることのできる場所。毎日開催している場所もあれば、週に一度だけしかない市場など様々。今も昔も地元の食材が並びます。ツアー行程のどこかで市場に合うように設定を心がけましたので、その街に暮らす人々の生活の一端に触れてみてください。スーパーマーケットなどの立ち寄りも面白いですが、活気溢れる「市場ぶらり歩き」も楽しいものです。

5. 連泊滞在などで自由行動の参考に「タウンマップ」をご用意。



自由に街歩きを楽しめるところでは、散策に便利な「タウンマップ」をご用意いたします。自由行動も充実した時間をお過ごしください。もちろん、自由行動の際は、弊社の基本方針通り、ご不安なお客は添乗員がプランをもつてご案内しますので、どうぞご安心ください。

INDEX

- ベジ スメタナの故郷と「スラブ叙事詩」も楽しむ
- 3 美しきモラヴィアの街々とウィーン・プラハの旅【11日間】
秋色の湖水地方からもうひとつのベネチア風情、そしてローマ名門ホテルへ
- 5 憧れの名門ローマ エクセルシオールに2泊
ベネチア ムラーノ島と秋色のコモ湖の旅【10日間】

- ベジ 雪を頂く山々や黄葉が織り成す幻想風景とローザンヌの名門ホテル
- 7 煌めく秋のスイス 美しきマッターホルンとレマン湖畔の旅【10日間】
《秋の限定企画》活気あふれるマーケットや個性ある郷土料理も楽しむ
- 9 第94回 アルパ白トリュフ祭
秋のピエモンテとビザンチンの華ラヴェンナの旅【10日間】

名古屋支店のスタッフです



木村 由紀 Kimura Yuki
添乗回数は300回を超える大ベテラン。ヨーロッパはもちろん南極などの極地を得意としています。現在は手配業務で現地のホテルやオペレーターなどと日々やり取りに奮闘。久しぶりに中部からヨーロッパに行けることに欢喜しています。



福岡 元気 Fukuoka Genki
個人的にヨーロッパが好きで特にスイスを中心としたアルプス地方には強い思い入れがあり、ドイツ南部からスイス、北イタリア、オーストリアなどのアルプスに抱かれた自然景観が特に気に入っています。フィンランド航空の中部復便で気合が入っています。



柴崎 範朗 Shibazaki Noriaki
ヨーロッパの歴史が好きで、特に古代ローマ時代の地中海世界に興味があり、中近東や北アフリカも得意地域です。200回を超える添乗の中でヨーロッパが1/3、中近東・アフリカが1/3を占めています。中部発着のツアーを少しずつ増やしていこうと日々努力しています。



磯田 啓太 Isoda Keita
アジア方面を担当することが多いのですが、数年前からヨーロッパの魅力に目覚め、特にその深い歴史に圧倒され目下勉強中です。個人的には東欧や中欧方面が特に興味があり、神聖ローマ帝国の歴史やその地域の中世の雰囲気はたまに好きです。



宮川 隼人 Miyagawa Hayato
昨年11月に入社。サッカーが大好きで、ヨーロッパサッカーにも詳しく、自身も社会人になるまでサッカーを続けていました。まだ事務的なサポートがメインとなりますが、皆様の旅が快適になるようお手伝いをしてまいります。

各地のこだわりプログラムをちょっとご紹介します

地元マンマの味を堪能 「こだわりのレストラン」 in ボローニャ

高級レストランで美味しいものを食べるのもいいですが、その土地ならではの食事や舌鼓するのも旅ならではの楽しみ。ボローニャで食べたマンマの味は忘れられません！各コースで思い出に残るようなレストランをご用意しております。（木村）



一度は訪れたい白トリュフ市 「市場ぶらり歩き」 in アルバ

週に1回行われる市もあれば、毎日のように開いている市場もあります。年に一度のアルバで開かれる白トリュフ国際見本市（祭り）は本当に面白い体験です。トリュフだけではなくワインにチーズに魅力ある商品が並びます。各コースで市場に立ち寄りしますので、どうぞお楽しみください。（柴崎）



中世の街並みを味わう 「街の素顔に出会う、朝の散策」 in プラハ

いつも観光客で溢れかえっているプラハで、まだ人々が動き出す前に散策をすると本当にきれいな街並みが見られる。他の街でもご案内しますが朝の散策は実に気持ちがいいものです。昼間とは違った印象を楽しみましょう。自由参加ですので、朝が苦手な方は無理なさらずに。（磯田）



かわいらしい見た目と質の高いサービスを堪能 「思い出に残る上級ホテル」 in ローザンヌ

レマン湖を望む歴史と格調のあるホテル「ザ・ロイヤル・サヴォイ&スパ」は、ロビーに一歩入った瞬間から雰囲気が変わります。ほのかに香る花の匂いと何とも言えない快適な空気感が、心地よい滞在を予感させ、宿泊することも目的となるようなホテルです。各コースで思い出に残るホテルをご用意しています。（福岡）



中部発着のフィンエアーは最終日も時間がたっぷり

2024年5月31日より、10月末までの期間限定で4年ぶりにフィンエアーが就航。待望のヨーロッパ直行便の再開です。日本線では中部行きのみヘルシンキの出発時刻は00:15と遅め。そのため、現地空港を夕刻便でヘルシンキに向かえばよいので、帰国日も旅をお楽しみいただけます。



ビジネスクラス (イメージ)

スメタナの故郷と「スラブ叙事詩」も楽しむ

美しきモラヴィアの街々とウィーン・プラハの旅

11日間



モラヴィアの宝石ミクロフに連泊

ここにご注目。旅のポイント

- ① 王侯貴族の保養地 カルロヴィ・ヴァリでのんびり宿泊。
- ② 中世の雰囲気が残るミクロフに連泊。近郊の緑の丘陵地帯も巡ります。
- ③ モラフスキー・クルムロフにも立ち寄りムハ（ミュシャ）の大作「スラブ叙事詩」全20点も鑑賞します。

ツアー担当者より

約4年ぶりに中部空港にフィンエアーが戻り、ようやく中部発着でのヨーロッパの旅へご案内できるようになりました。最初にご案内するのはどこが良いか迷いましたが、やはり中世の街並みを味わいながらも風景も美しいところ、さらに芸術も楽しみたいと、どんどん欲が深くなる中で、忙しくならずそれを満たすことができるのはチェコが最適であろうと考えました。6月～7月にかけて広がる、ミクロフからキヨフにかけての燃えるような緑の田園風景、アルフォンス・ムハ（ミュシャ）の大作「スラブ叙事詩」全20点が鑑賞できる南モラヴィアのモラフスキー・クルムロフ城なども訪れながら、チェコの田舎を巡る旅としました。久しぶりに海外に出られる方もいらっしゃるかもしれないということもあり、日本からのフライトの後、初泊は温泉保養地カルロヴィ・ヴァリとしました。長旅の疲れを癒してから、プラハからウィーンにかけて珠玉の街々を巡るこだわりの旅です。ぜひ、この機会にお出かけください。



名古屋支店 磯田啓太

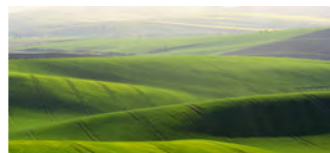
まさにフォトジェニック モラヴィアの宝石ミクロフに連泊

一面ブドウ畑が広がる中にポツンとあるミクロフは、まるでおとぎ話から出てきたような可愛らしい町です。リヒテンシュタイン家がおさめていた街並みはカラフルで街歩きが楽しいところ。若かりしムハ（ミュシャ）は、ミクロフ城主のエゴン伯爵に支援されており、パリから戻った後の一年ほどをこの街で過ごしました。ウィーンからもほど近く、日帰りはできますが朝夕の静かな街並みは印象的です。2連泊でのんびりとお過ごしいただけます。

緑のグラデーション 南モラヴィアの大草原を走る

ミクロフの東からキヨフにかけて広がる、波打つような丘陵の大絨毯。5～6月にかけては特に美しい緑の大パノラマが広がります。中世の街並みだけでなく、チェコの牧歌的で心温まる田舎風景がひろがります。のんびりとバスで巡りますので、目に

鮮やかな緑のグラデーションはきっと思い出深いものとなるでしょう。



美しい緑の大草原をバスで巡ります（イメージ）



世界遺産レドニツェ城も訪れます

ムハ（ミュシャ）の大作「スラブ叙事詩」全20点を鑑賞

アルフォンス・ムハ（ミュシャ）は、チェコを代表するアールヌーボー画家として世界中に数多くのファンがいます。その彼が約18年にも及ぶ期間をかけて取り組んだ大作「スラブ叙事詩」全20点です。2026年まで南モラヴィアのモラフスキー・クルムロフ城に展示されております。最大で6×8メートルという巨大な作品からはスラブ民族の苦しみや希望、そしてムハの情熱が全身に伝わってくるようです。



スラブ叙事詩「スラブ民族の神格化」

王侯貴族の保養地を優雅に楽しむ

チェコ語で「カレルの源泉」という名を持つカルロヴィ・ヴァリは、さかのぼること14世紀に時の神聖ローマ皇帝カレル4世が狩りの最中に見つけたといわれ、中世から王侯貴族の保養地として長い歴史を誇ります。近代になるとその噂を聞きつけた著名人も

こぞって訪れるようになり、ショパンやベートーベン、モーツァルトにゲーテなどの名が連なります。この度は、この街を代表する「グランドホテル・プップ」を確保。重厚ながらパステルカラーの街並みの散策や温泉体験をお楽しみください。



カルロヴィ・ヴァリでは、パステルカラーの街並みの散策もお楽しみください



名門「グランドホテル・プップ」に宿泊

最旬スポットへご案内、旅の締めくくりはウィーンで連泊

ウィーンでは、最近人気のスポットへご案内。2023年に5年間の改装が終わりディモクラティウム（民主主義に関するセンター）などが増設された国会議事堂は注目を集めます。ウィーン建築の宝とも呼ばれ、美し

い外観は一見の価値があります。また、ウィーン世界博物館（旧民族博物館）も近年人気を博しております。自由行動の時間も設けておりますので、定番の美術史美術館などは添乗員がご案内いたします。

ご宿泊ホテル

- **カルロヴィ・ヴァリ：グランドホテル・プップ**
カルロヴィ・ヴァリを代表するホテル。007/カジノロワイヤルが撮影されたことで有名。ゆっくりと温泉体験をお楽しみください。
- **プラハ：グランディウム**
プラハ中心部のヴァーツラフ広場に近い近代的なホテル。旧市街広場までは徒歩15分の立地。
- **リトミシェル近郊フラデツ・クラロヴェリエージュ：テレジアンスカイ・ドゥーブル**
- **ミクロフ：ホテル・ガラント**
こじんまりとした可愛らしいホテルで、町の中心に位置しており、ミクロフ城まで徒歩5分の好立地。
- **ウィーン：インターコンチネンタル・ウィーン**
旧市街と市立公園のすぐ近くにあるホテル。散策にも観光にも便利。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

※ホテルの★の数の記載に関して
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせた可能な限り快適なホテル選定を心がけております。



利用予定航空会社：フィンエアー

ツアーコード：EM553N

集合・日数・出発日	旅行代金		
【中部空港集合・11日間】 6月24日(月)	エコノミークラス利用 ¥798,000	プレミアムエコノミークラス利用 ¥978,000	ビジネスクラス利用 ¥1,318,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥125,000にて承ります)			
ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス利用区間：中部空港～ヘルシンキ間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥94,000 / 1月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	中部空港	22:50発→	夜、中部空港より、航空機にてヘルシンキへ。 (機中泊) □□機
2	ヘルシンキ05:55着 09:40発→ プラハ10:50着 カルロヴィ・ヴァリ15:00着	早朝、ヘルシンキに到着。 着後、航空機を乗り換え、プラハへ。 着後、カルロヴィ・ヴァリへ。 宿泊は、 名門「グランドホテル・プップ」 です。 (カルロヴィ・ヴァリ泊) 機屋夕	
3	カルロヴィ・ヴァリ 12:30発→ プラハ14:30着	午前、ゆっくりとお過ごしください。 午後、プラハへ向かいます。着後、 ●ストラホフ修道院 へご案内します。修道院では神学の間でミニコンサートを行います。 ●スメタナ博物館 や、中世から続く ○ハヴェル市場 を訪れます。 【2連泊】(プラハ泊) 朝□夕	
4	プラハ	街の素顔に触れる【朝】朝の散策 へご案内します。 午前、プラハ城の観光へ。 ●聖ヴィート教会 や ●旧王宮 、 ○黄金の小路 へご案内します。昼食は、「 こだわりのお食事【朝】旧市街を眺めるレストラン 」にてご用意しました。(プラハ泊) 朝屋□	
5	プラハ リトミシェル フラデツ・クラロヴェ	午前、バスにてスメタナの生まれた街 リトミシェル へ向かいます。着後、音楽祭の雰囲気のある旧市街や ●スメタナの生家 を訪れます。 (リトミシェル近郊・フラデツ・クラロヴェ泊) 朝屋夕	
6	フラデツ・クラロヴェ08:30発→ モラフスキー・クルムロフ ミクロフ17:00着	午前、バスにてモラフスキー・クルムロフへ。 午後、 ●モラフスキー・クルムロフ城 にて「 スラブ叙事詩 」をご覧いただけます。 【2連泊】(ミクロフ泊) 朝屋夕	
7	ミクロフ	午前、大草原が見渡す限り続く キヨフ近郊の丘陵地帯のドライブ を楽しみます。 午後、中世の雰囲気を残す ミクロフの散策 へご案内いたします。 (ミクロフ泊) 朝屋□	
8	ミクロフ09:00発→ レドニツェ城 ウィーン16:00着	午前、 ●レドニツェ城 へご案内します。 夕刻、ウィーンへ到着。 【2連泊】(ウィーン泊) 朝屋夕	
9	ウィーン	街の素顔に触れる【朝】朝の散策 へご案内します。 午前、改装して近年人気の ●ウィーン世界博物館(旧民族博物館) 、リニューアルが完了した建築の美しい ○国会議事堂 を訪れます。 午後、自由行動。ご希望の方は美術史美術館へご案内します。 (ウィーン泊) 朝□夕	
10	ウィーン15:00発→ 19:15発→ ヘルシンキ22:35着	出発までゆっくりお過ごしください。 午後、空港へ向かいます。 夜、航空機にてヘルシンキへ。 (機中泊) 朝□機	
11	ヘルシンキ00:15発→ 中部空港	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、中部空港に到着後、解散。 □機□	

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：中部空港ご出発時から中部空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残有効期間：帰国時3か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

裏表紙の「ワールド航空サービス 海外旅行「安心」への取り組み」もご覧ください。

秋景色の湖水地方からもうひとつのベネチア風情、そしてローマ名門ホテルへ 憧れの名門ローマ エクセルシオールに2泊 ベネチア ムラーノ島と秋色のコモ湖の旅 10日間



観光客が比較的少なく、美しい街並みの散策を楽しめるムラーノ島 (イメージ)

ここにご注目。旅のポイント

- 心に染みる美しい秋景色の湖水地方に加え、ヴェローナ、パドヴァの旅情あふれる古都も訪ねます。
- ベネチア本島でなく、敢えて静寂のムラーノ島に宿泊し、もうひとつのベネチア風情、素朴な原風景に浸ります。
- 旅の最後はローマの名門ホテル「エクセルシオール」にてゆっくり優雅なホテルライフを愉しみます。



ツアー担当者より

秋色のコモ湖畔から、水の都ベネチア、そして高速鉄道でローマの名門ホテルへ、というイタリアのゴールデンコースです。オルタ湖、マッジョーレ湖、そしてコモ湖へと、ひと筆書きルートで無駄なくご案内。お洒落なコモの街2泊の間に、船と公共バスで「コモの真珠」と謳われる湖畔のベラージオへ。ベネチアは観光客が押し寄せすぎるオーバーツーリズム問題で話題になりましたが、ベネチア本島から水上バスで簡単に行き来できるムラーノ島の好評のホテルハイアットに3泊し、本島では失われてしまったベネチア本来の素朴で静かな生活空間で、ここに住む人達の暮らしを感じていただけます。ベネチア・サンタルチア駅からは、高速鉄道でローマ・テルミニ駅まで約4時間。フィナーレは、ローマの名門ホテル「エクセルシオール」で「ローマの休日」を存分にお楽しみいただきたいと思います。



名古屋支店 木村由紀

ベネチア本来の生活空間を感じる島暮らし・ムラーノ島滞在

ガラス細工で有名なムラーノ島は、七つの島からなり、それぞれの島をつなぐ運河や橋が独特の絵になる景観を造り出しています。また、まだまだ観光客も少ないことから、島で暮らす人々の生活感があり、本来のベネチアの雰囲気を感じることができるとっておきの島です。島の名前を世界的に有名にした「ムラーノガラス」(ベネチアンガラスはこの島で創られているガラス製品です)は、島の中心へと続く「ガラス職人通り」沿

いに工房とガラスショップが軒を連ねています。



世界的に有名なムラーノ・ガラス。職人の工房も訪ねます (イメージ)

自由行動では、近くのラゲーナ(干潟)の島々を訪ねることもできます

ムラーノ島に宿泊することで、水上バスで近隣の島々を巡ることも簡単です。ムラーノと同じくラゲーナに浮かぶベネチアの島ブラーノ島は、パステルカラーで彩られたまるでおとぎの国のような風景。ブラーノとは対照的なトルチェッロ島はベネチア本土へと人々が移り行くなかでいつしか忘れられ、今は原風景が残る貴重な島といえます。



パステルカラーの街並みが美しいブラーノ島(イメージ)

秋ならではの旅情に浸る、湖水地方とコモ湖での滞在

青空と周囲のアルプスの山並み、湖畔の樹木と湖水とのコントラストがより鮮やかな、秋景色の湖水地方を訪れます。山と山に挟まれた「水の鏡」と称されるオルタ湖、ヘミングウェイをはじめ多くの文化人を虜にしてきたスイスと国境を成すマッジョーレ湖、多くの芸術家に愛され、世界のセレブたちが集まる保養地コモ湖へ。今回はコモの街に滞在し、湖のクルージング、「コモ湖の真珠」と謳われた風光

明媚なベラージオの町の散策など、秋景色のコモ湖の表情を様々な視点からゆっくりとお楽しみいただけます。

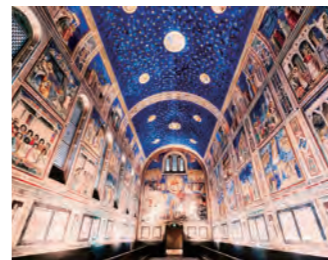


湖水地方を代表する景勝地マッジョーレ湖(イメージ)

ダンテ、ガリレオが教鞭を執った大学の街パドヴァ

ヴェネト州の古都パドヴァ。紀元前9世紀にはすでに町として機能し、ローマ時代には「ローマに次ぐ富裕の町」と呼ばれました。その後、13~14世紀には自由貿易によって大いに繁栄し、ラジョーネ宮や城壁が築かれ、スクロヴェニ礼拝堂のジョットの傑作フレスコ画もこの時期に描かれました。イタリアで2番目に古いパドヴァ大学は、コペルニクスが学び、ダンテ、ガリレオ・ガリレイ、詩人ペトラルカなどが教鞭を執ってい

ます。中世情緒を感じさせる歴史と由緒ある大学町の散策をお楽しみください。



「ジョット」のフレスコ画で満たされたスクロヴェニ礼拝堂

「ロミオとジュリエット」の舞台、ローマ帝国の要衝ヴェローナ

ヨーロッパの北と南を繋ぐ、アルプス越え(ブレンナー峠)に続く街道の重要な要衝としてすでにローマ時代以前から存在した街ヴェローナ。ローマ時代から中世に至る街並みが織りなす旧市街の複合的な佇まいが実にユニークで美しく、訪れる者の旅情を掻き立てます。また、シェイクスピアの悲劇「ロミオとジュリエット」の舞台としても知られ、散策観光ではローマ時代の繁栄を今に伝える古代円形劇場などの史跡に加え、「ジュリ

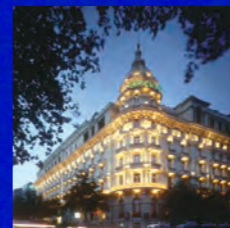
エットの家」もご案内します。町歩きがとても楽しい古都ヴェローナにご期待ください。



ローマから中世までの複合的な街並みが美しいヴェローナ (イメージ)

ご宿泊ホテル

- **コモ：ルドゥエコルティ**
1857年創業。コモの街の中心部に立地する散策に便利なホテル。歴史的建造物を改装したホテルにつき、客室はやや手狭となります。
- **ムラーノ島：ハイアット・セントリック・ムラーノ・ベニス**
ラグーンにほど近い、かつてのガラス工場内に建つユニークなホテル。モダンながらも職人によるこだわりのインテリアが特徴です。
- **ローマ：ウエスティン・エクセルシオール**
スペイン広場にほど近いヴェネト通りに立地する、ローマの街の顔として著名人たちに愛された1906年創業のラグジュアリーホテル。



世界の著名人やVIPに愛されたローマの顔、名門エクセルシオール。映画「甘い生活」にも登場しました

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせた可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

利用予定航空会社：フィンエアール ツアーコード：ES420N

集合・日数・出発日	旅行代金		
	エコノミークラス利用	プレミアムエコノミークラス利用	ビジネスクラス利用
【中部空港集合・10日間】 9月27日(金)	¥858,000	¥1,038,000	¥1,378,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥160,000にて承ります)			
ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス利用区間：中部空港～ヘルシンキ間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥94,000：1月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	中部空港	22:50発→	夜、中部空港より、ヘルシンキへ。 (機中泊) □□機
2	ヘルシンキ	05:55着 08:00発→ミラノ 10:05着=オルタ湖 マッジョーレ湖 コモ 17:30着	着後、航空機を乗り換え、ミラノへ。着後、秋色の湖水地方へ。まずは、オルタ湖を訪れ、湖に浮かぶサンジュリオ島へ。その後、マッジョーレ湖を訪ねます。夕刻、コモの街中のホテルにチェックイン。 【2連泊】(コモ泊) 朝昼夕
3	コモ	(コモ湖ベラージオ)	午前、ボートにて「コモの真珠」ベラージオへ。湖畔の散策やセルベロ二邸庭園からのコモ湖の眺めをお楽しみください。午後、公共バスにてコモの街に戻り、自由にお過ごしください。 (コモ泊) 朝昼□
4	コモ	08:00発=パドヴァ ベネチア ムラーノ島 18:00着	午前、ローマ時代から中世まで複合的な町並みが美しい、ヴェネチア本島へ。○古代円形劇場、○シニョーリ広場、○ジュリエットの家など、旧市街の散策にご案内します。午後、古い大学都市パドヴァを訪れ、●スクロヴェニ礼拝堂(ジョットのフレスコ画)、●サンタントニオ聖堂など旧市街の散策観光へ。夕刻、ベネチア着後、水上バスにてムラーノ島へ渡り、ホテルにチェックイン。 【3連泊】(ベネチア・ムラーノ島泊) 朝昼夕
5	ムラーノ島		午前、ムラーノ島の散策。ベネチアングラスの工房が並ぶ境界を歩き、●ムラーノ・ガラス博物館、●サンタマリア・エ・ドナート教会などを訪れます。午後、自由行動。 (ベネチア・ムラーノ島泊) 朝□夕
6	ムラーノ島	(ベネチア本島)	午前、水上バスにてベネチア本島に渡り、ベネチア本島の散策へ。まずは、人々で賑わう●リリアルト橋と魚市場へ。その後、安藤忠雄氏が設計した●プンタ・デラ・ドガナー美術館、●ペギー・グッゲンハイムコレクションなどにご案内します。午後、ベネチア本島にて自由行動。夕刻、水上バスにてムラーノ島へ戻ります。 (ベネチア・ムラーノ島泊) 朝□夕
7	ムラーノ島	08:00発=ベネチア 10:17発=ローマ 14:05着	朝、水上バスにてベネチア本島に渡り、ベネチア・サンタルチア駅より高速鉄道にてローマへ(約4時間)。ローマ・テルミニ駅着後、●ローマを代表する名門ホテル「エクセルシオール」へ。 【2連泊】(ローマ泊) 朝昼□
8	ローマ		街の素顔に触れる【朝の散策】へご案内します。午前、ローマ中心部の散策観光。○スペイン広場からコロソ通り、○トレヴィの泉、○パンテオン、○ナヴォナ広場などへご案内します。その後、自由行動。「ローマの休日」をお楽しみください。【朝】フェアウェルディナーは、ホテル「エクセルシオール」にて優雅にどうぞ。 (ローマ泊) 朝□夕
9	ローマ	18:55発→ヘルシンキ 23:15着	午前、出発までゆったりとお過ごしください(12:00チェックアウト)。午後(15:30頃)、市内より空港へ向かいます。夜、ローマより航空機にてヘルシンキへ。 (機中泊) 朝□機
10	ヘルシンキ	00:15発→中部空港 19:05着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。夜、中部空港に到着後、解散。 機□□

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食4回、夕食5回 ■添乗員：中部空港ご出発時から中部空港ご到着まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時3か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

路地を抜けるとドラマチックな空間が現れる、バロックの街ローマの散策観光をお楽しみください



古代ローマ時代の姿を留める唯一の大建築パルテノン。映画「ローマの休日」のシーンにも

裏表紙の「ワールド航空サービス 海外旅行「安心」への取り組み」もご覧ください。

雪を頂く山々や黄葉が織り成す幻想風景とローザンヌの名門ホテル 煌めく秋のスイス 美しきマッターホルンとレマン湖畔の旅 10日間



カラマツの紅葉とマッターホルンの雄姿 (イメージ)

ここにご注目。旅のポイント

- 晴天率の高い秋に訪れ、秋めく自然とマッターホルンの雄姿を楽しみます。
- レマン湖畔ではローザンヌに連泊し、様々な角度でレマン湖畔を味わいます。
- 自然だけではなく中世の街並みや可愛らしい村も巡ります。

ツアー担当者より

雄大な自然と山岳美、美しい町々で絶大な人気を誇るスイス。夏が特に人気ではありますが、近年は、秋が注目されるようになってきております。夏の観光シーズンがひと段落し、冬のスキーシーズンの到来までの比較的静かな時期でもあり、地元スイスの人々は、秋が一番好きな時期だと言い切る人が多くいらっしゃいます。何より晴天率が夏に比べて高くなるため、澄んだ空気の中で美しい山々が見られる可能性が高い時期でもあります。とりわけ雪を頂いたマッターホルンの雄姿と色づいたカラマツの共演は、息を飲む美しさです。年によっても若干の差がありますが、カラマツの黄葉が美しく彩り「ゴールドンカラー」と呼ばれる時期に合わせ、今回はツェルマツで連泊としました。一言でスイスと言っても地域によって標高差もかなりあるので一概には言えませんが、10月初旬に秋を迎える標高1400～1600m程のアンデルマツやツェルマツを中心に前半はご案内します。旅の後半はベルンやローザンヌなど、比較的標高の低い地域で街並みやレマン湖畔での滞在を楽しむ旅としました。収穫を迎える秋は食が楽しみの時期でもあります。ジビエ料理やきのこ、ワインにチーズなどスイスの秋らしい味覚もお楽しみください。



名古屋支店 福岡元気

紅葉のカラマツと雪を被ったマッターホルンの雄姿

標高約1,600mのツェルマツでは10月初旬ごろからカラマツが色づきます。黄色く輝く木々と雪を頂くマッターホルンのコントラストは実に美しい光景です。ツェルマツの村から眺める景色もさることながら、ゴル

ナグラード展望台への途中あたりの森林限界をむかえるリッフェルアルプあたりもマッターホルンとカラマツをご覧いただくおすすめスポットです。
※年によって紅葉の時期は若干前後します。

ローザンヌの宿泊は名門「ザ・ロイヤル・サヴォイ&スパ」

美都ローザンヌに滞在、様々な角度でレマン湖を味わう様な魅力的な街が点在していますが、エレガントで落ち着いた雰囲気を持つローザンヌに連泊としました。宿泊は名門「ザ・ロイヤル・サヴォイ&スパ」をご用意。鉄道で湖畔を巡り、世界遺産のラヴォー地区ではミニトレインでブドウ畑を巡り、船を利用してレマン湖の

遊覧とともにお食事を楽しむプログラムなどをご用意しました。



美しい街ローザンヌに連泊 (イメージ)



世界遺産ラヴォー地区をミニトレインで巡ります(イメージ)

スイスの美しい中世の街並みや可愛らしい村も訪れます

美しい山々と自然が人気のスイスですが、歴史ある街並みや魅力的な村も点在しています。この度は、あまり知られていないながらも歴史の深いムルテンや人口がわずか500人ほどの小さな村ロマンモティエ、チューリッヒ湖畔の城下町ラッパースヴィルなども巡ります。特にムルテン(フランス語地名ではムル)は、1476年にスイス軍がフランス軍を打ち破った地としてスイス国内では有名です。時計塔を中心としたメインストリートを持つ城壁に囲まれた街並みはベル

ンにも似た作りですが、ドイツ語圏とフランス語圏の境界でもあり、フランス文化が交じりあった雰囲気は独特なものです。



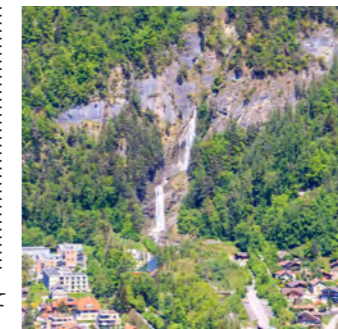
ベルンと似た作りながらもフランスの香りが漂う中世の街ムルテン (イメージ)



水辺の美しい町ラッパースヴィル (イメージ)

ポストバスを利用して中央アルプスの峠を巡ります

交通の要綱であり、ゴッダルド峠やオーバーアルプ峠、フルカ峠の間に位置し、北はドイツ方面、南はイタリア方面と結ぶ交通の要所として古くから栄えた村アンデルマツに連泊。ここを拠点にポストバスを利用して、ステデン峠やグリムゼル峠などを巡りマイリンゲンを訪れます。



マイリンゲンにあるホームズ終焉の地として描かれたライフェンバッハの滝 (イメージ)

ご宿泊ホテル

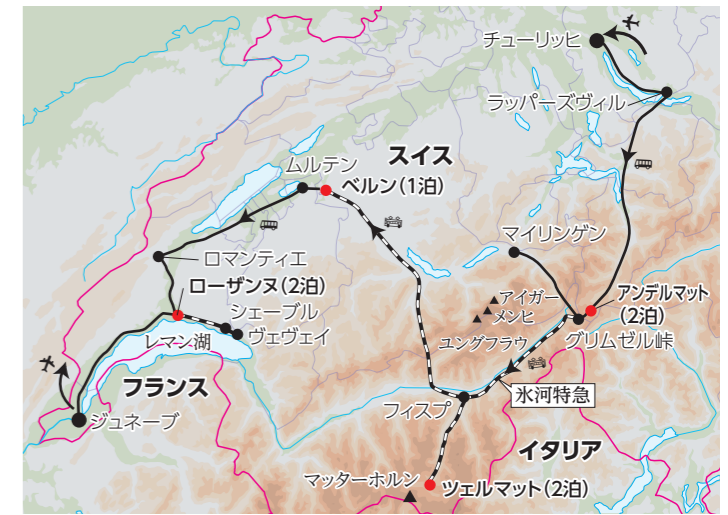
- **アンデルマツ**：ラディゾン・ブリュ・ホテル・ロイセン・アンデルマツ
近代的で設備の整ったホテル。シェーレンヌ渓谷に架かる悪魔の橋まで歩いて10分ほどのところにあり、アンデルマツ駅までも徒歩7～8分の立地。
- **ツェルマツ**：ホテル アルカ&ゾーレバート または ナコ・アパートメンツ
どちらもツェルマツ駅から歩いて5～6分の比較的閑静な地域に建つ山小屋風ホテル。
- **ベルン**：ホテル・サヴォイ
旧市街に位置しており、観光に便利で設備の整った近代的なホテル。
- **ローザンヌ**：ザ・ロイヤル・サヴォイ&スパ
1909年創業で古き良き時代の魅力とモダンなラグジュアリーを融合させた老舗ホテル。7階のスカイテラスからは、レマン湖や街並み、山々の雄大な景色を眺めることができます。



写真提供：ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

※ホテルの★の数の記載に関して
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせた可能な限り快適なホテル選定を心がけております。



利用予定航空会社：フィンエアー	ツアーコード：EW096N		
集合・日数・出発日	旅行代金		
【中部空港集合・10日間】 10月4日(金)	エコノミークラス利用 ¥1,098,000	プレミアムエコノミークラス利用 ¥1,278,000	ビジネスクラス利用 ¥1,618,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥175,000にて承ります)			
ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス利用区間：中部空港～ヘルシンキ間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥94,000：1月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	中部空港 22:50発→	夜、中部空港より、航空機にてヘルシンキへ。	(機中泊) □□機
2	ヘルシンキ05:55着 07:55発→ チューリッヒ09:45着 ラッパースヴィル アンデルマツ17:00着	早朝、ヘルシンキに到着。 午前、航空機を乗り換え、チューリッヒへ。 着後、バスにてチューリッヒ湖畔の可愛らしい村ラッパースヴィルに立ち寄り、散策と昼食にご案内します。 午後、アンデルマツへ。【2連泊】(アンデルマツ泊) 機屋夕	
3	アンデルマツ (グリムゼル峠) (マイリンゲン)	終日、ポストバスを利用して、マイリンゲンへご案内します。途中、ステデン峠やグリムゼル峠などの景色をお楽しみください。	(アンデルマツ泊) 朝□□
4	アンデルマツ13:52発 (氷河特急) ツェルマツ17:10着	午前、アンデルマツの散策へご案内します。 午後、氷河特急にてツェルマツへ向かいます。 夕刻、ツェルマツに到着。【2連泊】(ツェルマツ泊) 朝□夕	
5	ツェルマツ	マッターホルンの朝焼けを望む、朝の散策にご案内します。 (注) 午前、登山鉄道にてゴルナグラード展望台へご案内します。途中、リッフェルアルプ駅で降りて秋景色も楽しめます。 午後、自由行動。	(ツェルマツ泊) 朝□□
6	ツェルマツ09:37発 ベルン11:54着	午前、鉄道でフィスプを経由してベルンへ。 午後、ベルンの旧市街散策へご案内します。	(ベルン泊) 朝屋夕
7	ベルン11:00発 ムルテン ロマンモティエ ローザンヌ17:00着	午前、バスにてムルテンへ。 着後、中世の街並みを残す可愛らしい町の散策を楽しみます。 午後、山間の可愛らしい村ロマンモティエに立ち寄り、ローザンヌへ。 【2連泊】(ローザンヌ泊) 朝屋夕	
8	ローザンヌ シェーブル (ラヴォー地区) ヴェヴェイ ローザンヌ	午前、シェーブルまで鉄道で移動し、ラヴォー地区をミニトレインで巡ります。その後、ヴェヴェイへ移動して、レマン湖クルーズを楽しみます。昼食は船内にて風景を楽しみながらお召し上がりください。 午後、鉄道でローザンヌへ戻ります。	(ローザンヌ泊) 朝屋夕
9	ローザンヌ14:00発 ジュネーブ18:55発→ ヘルシンキ22:55着	午前、土曜日の開催されるローザンヌのマルシェへご案内します。午後、バスにてジュネーブへ。 夜、航空機にてヘルシンキへ。	(機中泊) 朝□機
10	ヘルシンキ00:15発→ 中部空港	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、中部空港に到着後、解散。	□機□

(注) 天候によって朝焼けはご覧になれないこともございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人数：10名様 ■食事：朝食7回、昼食4回、夕食5回 ■添乗員：中部空港ご出発時から中部空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残有効期間：帰国時3か月以上 ■バスポート査証未使用期間：2ページ以上必要

裏表紙の「ワールド航空サービス 海外旅行「安心」への取り組み」もご覧ください。

《秋の限定企画》活気あふれるマーケットや個性ある郷土料理も楽しむ 第94回 アルバ白トリュフ祭 秋のピエモンテとビザンチンの華ラヴェンナの旅 10日間



なだらかな丘陵に色づく葡萄畑、小さな町や村が点在する、情緒あふれる秋のピエモンテ（イメージ）

ここにご注目。旅のポイント

- ① 希少な白トリュフの産地として知られるアルバを「白トリュフ祭（国際見本市）」が開かれる時期に合わせて訪問。
- ② 美しい丘陵に葡萄農家や小さな村々が点在するピエモンテの魅力をご紹介します。パローロやバルバレスコのワイナリー訪問も楽しみです。
- ③ 壮麗なモザイクに彩られ、ビザンチン文化が開花した古都ラヴェンナに3連泊。世界最古の小さな独立共和国サンマリノにも足を延ばします。

ツアー担当者より

キャビア、フォアグラと並び世界三大珍味とされる白トリュフ。この中で最も希少価値が高いのが白トリュフといえましょう。黒トリュフと異なり、採集場所が限られ、秋から冬にかけてのわずか3か月ほどしか収穫できず、流通量が極少のため、世界各国で驚くほどの高値で取引されています。この白トリュフの一大産地が、イタリア・ピエモンテ州のアルバです。今回はアルバにて秋の期間限定（かつ週末のみ）で開催される「白トリュフ祭」にあわせてアルバに3連泊し、イタリア国内外からたくさんの人々が訪れ賑わいを見せる白トリュフ祭をご案内します。そして、世界遺産にも登録された近郊のワインの里も訪れ、ピエモンテの食文化、自然景観を愉しみます。ツアー後半は、華やかなモザイクの都ラヴェンナに3連泊。しつとりと古都の芸術や美術を味わうとともに、小さな独立国サンマリノ共和国にも足をのびします。なお、郷土料理や家庭料理、秋ならではの料理など、ローカルの食を通じてその土地の文化や風俗、伝統、人々の暮らしについてご紹介してまいります。



名古屋支店 柴崎範朗

秋色に色づくピエモンテの丘陵地と魅力的な町々へ

近年、ピエモンテ州の料理やワインの名前も、日本でよく知られるようになってきました。アルプス南麓、トリノの南に広がる丘陵地には、ブドウ畑や小さな町や村が点在しており、ワイナリーなども多く見られます。特にアルバの南はラングと呼ばれ、見渡す限りのブドウ畑が広がる一帯です。このたびは、拠点となる白トリュフの里アルバに3連泊することで、色づく秋の情景、のどかで美しい村々、世界遺産地区のワイナリーなど、そんなピエモンテの魅力をたっぷりご案内いたします。

この時期ならではの!『第94回アルバ白トリュフ祭(国際見本市)』開催中の古都アルバへ

世界三大珍味といえば、キャビア、フォアグラ、そしてトリュフとされていますが、トリュフのなかでも、秋から冬にかけての短い季節にのみ、そして産地も限られる「白トリュフ」は殊更に希少価値が高いとされています。このたびは、そのアルバで期間限定（しかも週末のみ）で開催される「白トリュフ祭(国際見本市)」を訪ねます。貴重な白トリュフの販売の様子や、トリュフを使った様々な製品、また、この地方特産のヘーゼルナッツやポルチーニ、ワインなどピエモンテの名産品が並びマーケットが賑やかに並びます。散策がてら地元の人々に混じって楽しみましょう。



世界でも高い評価を受けるアルバ産の白トリュフ



ピエモンテ名物のタリニンパスタと白トリュフ（イメージ）

ピエモンテの誇る上質ワインの里「バルバレスコ」と「パローロ」

世界遺産にも登録されたワインの産地「イタリアワインの女王」と謳われるバルバレスコ地区と、「王様」と称されるパローロ地区のワイナリー見学とテイスティングなども組み込みました。また、ワイナリーだけでなく、古城内にワイナリー博物館のあるパローロ村の散策や、「イタリアの最も

美しい村」に加盟している可愛らしい村ネイヴェへもご案内いたします。



イタリアの最も美しい村に加盟のネイヴェ村（イメージ）

ジェノヴァにも足を延ばして本場のジェノヴェーゼを味わい、リグリア海に面した可愛らしい漁師町カモーリに宿泊

海洋都市国家として大繁栄したジェノヴァでは、その栄華を偲ぶ旧市街の散策を楽しみます。そして、ジェノヴァといえば、バジルをたっぷり使ったジェノヴェーゼが有名です。今回は、本場のパスタも楽しめます。ジェノヴァから小1時間ほどのカモーリは、あまり知られていませんが、海沿いにパステルカラーの民家が建ち並び可愛らしい漁師町で、のどか

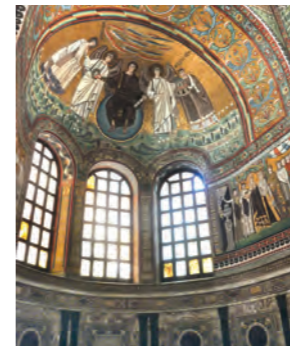
な港町の雰囲気が魅力です。映画の舞台にもなった海岸近くのホテル「チェノピオ・デイ・ドージ」に宿泊し、朝の町さんぽを楽しみます。



パステルカラーで可愛いカモーリの家並み（イメージ）

モザイクに彩られた、ビザンチンの華ラヴェンナに3連泊

ラヴェンナは、402年にミラノから西ローマ帝国の宮廷が遷都され、476年に帝国が滅亡するまでの西ローマ帝国最後の都だった町です。その後、ラヴェンナに総督府を置いた東ローマ帝国皇帝ユスティニアヌス大帝が、モザイクで彩られた壮麗な建物を次々と建てました。ビザンチン文化を受け継ぎ、コンスタンチノープルをはるかに凌ぐ精巧なモザイクが今なお残りそのほとんどが世界遺産に登録されているモザイクの宝庫です。



サンヴィターレ教会のモザイク

世界で5番目に小さな、世界最古の共和国サンマリノ

世界で5番目に小さな独立国サンマリノ。1631年にローマ教皇によって独立が承認された、現存する世界最古の共和国。その起源は、紀元301年、ローマ皇帝ディオクレティアヌスによるキリスト教迫害から逃れた石工マリーノに遡ります。独立国ながら、出入国はまったくのノーチェック。希望者は、インフォ

メーションで、パスポートに観光ビザスタンプ(5ユーロ)を押してくれます。



サンマリノ共和国（イメージ）

ご宿泊ホテル

■ アルバ：イ・カステッリ

アルバ中心部まで徒歩圏の散策に便利な清潔でモダンなホテル。

■ カモーリ：ホテル・チェノピオ・デイ・ドージ

映画の舞台にもなった落ち着いた雰囲気のホテルです。テラスやレストランからは海を眺めることができる立地も魅力です。

■ ラヴェンナ：レジデンス・ラ・リユニオン

ダンテのお墓にほど近い、旧市街の中心部にあり、散策に非常に便利です。



ホテル・チェノピオ・デイ・ドージ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社は、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。



利用予定航空会社：フィンエア

ツアーコード：E5437N

集合・日数・出発日	旅行代金		
【中部空港集合・10日間】 10月11日(金)	エコノミークラス利用 ¥798,000	プレミアムエコノミークラス利用 ¥978,000	ビジネスクラス利用 ¥1,318,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス利用区間：中部空港～ヘルシンキ間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥94,000：1月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	中部空港	夜、中部国際空港より、航空機にてヘルシンキへ。	宿泊地：(機中泊) □□機
2	ヘルシンキ05:55着 08:00発 → ミラノ10:05着 ⇐ トリノ ⇐ アルバ16:30着	着後、航空機を乗り換え、ミラノへ。 着後、バスにて風光明媚なピエモンテ州のアルバへ。途中、トリノに立ち寄り、カフェにて軽めの昼食。 夕刻、アルバのホテルにチェックイン。	[3連泊] (アルバ泊) 機窓夕
3	アルバ (第94回アルバ 白トリュフ祭)	午前、イタリアでも有数のトリュフの産地アルバにおいて、この時期の週末(土・日)限定で開催される、 『アルバの白トリュフ祭(国際見本市)』 へご案内します。誰でも気軽に訪問することができるマーケットが開催され、ワインや地元の名産品が並びます。午後、自由行動。	(アルバ泊) 朝昼夕
4	アルバ ⇐ (バルバレスコ) (ネイヴェ村) (パローロ)	終日、世界遺産に登録されるワインの産地が点在し、美しい丘陵地が続くピエモンテ州をドライブしながら、ワイナリー、小さな村や町へ。 午前、バルバレスコ地区のワイナリーや「イタリアの最も美しい村」のひとつ、丘の上のネイヴェ村を訪れます。 午後、「イタリアワインの王様」と謳われるパローロ地区へ。ワイナリー訪問や、村の散策にご案内します。(アルバ泊) 朝昼夕	
5	アルバ08:00発 ⇐ ジェノヴァ10:00着 ⇐ カモーリ16:30着	午前、バスにてジェノヴァへ。ガリバルディ通り周辺の○ロッシの邸宅群、○フェッターリ広場周辺、○コロンプスの生家などを観光。昼食は、ローマ法王にもジェノバソースを献上する 『老舗のレストラン「ゼッフィーノ」にてジェノバペースタ をご賞味いただきます。夕刻、 目の前にリグリア海が広がるカモーリの『上級ホテル「ホテル・チェノピオ・デイ・ドージ」へ。	(カモーリ泊) 朝昼夕
6	カモーリ10:00発 ⇐ カッターラ ⇐ ラヴェンナ18:00着	朝、『カモーリの海岸と町さんぽ』にご案内します。 その後、大理石の産地として有名なカッターラを訪れます。 『昼食は、カッターラ郊外でワイナリーと宿を営む日本人女性の木本さんのもとを訪ね、ワインの試飲とともに楽しみます。』 午後、中世古都ラヴェンナへ。 [3連泊] (ラヴェンナ泊) 朝昼夕	
7	ラヴェンナ	午前、ビザンチンの華ラヴェンナの散策観光。●サンヴィターレ教会、●ガッラプラチディア廟、○ポポロ広場などご案内します。午後、自由行動。	(ラヴェンナ泊) 朝□□
8	ラヴェンナ ⇐ (サンマリノ共和国)	午前、バスにて、世界で5番目に小さな独立国、歴史あるサンマリノ共和国を訪れます。着後、中世の城塞が残る山上のサンマリノ旧市街の散策を楽しみます。午後、郊外の●サンタポリナーレインクワッセ聖堂に立ち寄り、ラヴェンナに戻ります。(ラヴェンナ泊) 朝□夕	
9	ラヴェンナ08:00発 ⇐ ポローニャ ⇐ ミラノ19:05発 → ヘルシンキ23:05着	朝、中世都市ポローニャを訪れ、●大聖堂などを観光します。 『昼食は、地元の人々に愛されるマンマの店「アンナマリア」にて郷土のおふくろの味をお楽しみいただきます。』 その後、ミラノのマルペンサ空港へ。夜、ミラノより航空機にてヘルシンキへ。(機中泊) 機窓機	
10	ヘルシンキ00:15発 → 中部空港19:05着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。夜、中部空港に到着後、解散。	機□□

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：中部空港ご出発時から中部空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残有効期間：発日3か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

裏表紙の「ワールド航空サービス 海外旅行「安心」への取り組み」もご覧ください。